

## 育友会定期総会

# コロナに対応し書面表決 新役員、事業計画など決定

12、13 頁に新旧会長挨拶、  
14～21 頁に承認議案等を掲載

定期総会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年引き続き2年連続で会員を招集しての開催を見送り、書面表決で審議を行いました。5月上旬より育友会ホームページ上に、以下の3つの議案、①令和2年度事業報告及び収支決算報告、②令和3年度事業計画及び収支予算、③令和3年度育友会長、副会長及び監査役の選出、について公開し、会報『育友』165 春号付録のはがきで会員に「賛成」か「反対」の票を投じていただきました。採決の結果、全ての議案が承認されました。

## 第1回全国支部長会

# Web開催で 情報共有を図る

6月5日(土)、Webにて第1回全国支部長会を開催し、支部長、本部役員など90名が、支部運営について意見を交換しました。今回話し合われた主なテーマは、新型コロナウイルス感染拡大のため、これまでのような支部運営が困難な中、どのように支部活動や人の繋がりを維持するかということです。東京 A 支部の島村幸也支部長は、育友会活動の意義をはがきで1年生の支部会員に送り、理解を図った事例を報告。また神奈川東支部の林高央支部長は、支部役員に対して行ったオンライン就職懇談会や支部役員同士のLINEでの情報共有などの事例を報告しました。

今回の全国支部長会には、特別に佐々木重人学長も参加。育友会の支部長を務めていたお父様の思い出や、コロナ禍における大学の取り組み、支部運営へのねぎらいなどが語られました。また3期にわたり支部長を務めた前奈良支部長の長尾一栄さんと、前和歌山支部長の埜々下泰正さんに育友会から感謝状と記念品が贈られました。



↑ 支部長・オブザーバーが69名、本部役員18名、大学役員(学長・常務)2名、3期連続功労支部長1名が参加



↑ 特別に参加された佐々木重人学長



↑ 3期にわたり奈良支部長を務めた長尾一栄前支部長



↑ 神奈川東支部の林高央支部長の発表